

玉川学園で実施する模擬選挙について

玉川学園では、2002年から9～12年生（中学3年生から高校3年生）の社会科・公民科における政治分野の体験学習プログラムとして、模擬選挙を実施。その時々々の政治情勢に応じて国政選挙や地方自治体選挙の時期を活用し、これまでに16回行ってきました。

今回の模擬選挙では、9年生（中学3年生）の社会の授業および12年生（高校3年生）の一部の授業で投票を行います。他学年（5年生～12年生）は、終会後に校舎入口に投票所を設け、投票を呼びかけて実施します。

授業では、選挙公報やNPOがまとめた政策比較表を読み、それぞれの候補者、政党の主張や政策を知り、自らの疑問点をまとめて批判的に情報を読む力を養います。疑問点や争点などを担当教諭が解説。その後、自分の考えにあった政党へ投票します。（政党名投票のみ）

中央委員会（生徒会）が選挙管理委員会となり、この選挙の運営を担います。開票は10月23日（月）の放課後（15：35～16：00）実施予定。

本学園の模擬選挙は、可能な限り「現実の選挙」に近い形で行われることが特徴。選挙公報、投票箱や記載台、政党名一覧、めいすい君は町田選挙管理委員会から借用します。また、有権者名簿の確認や、二つ折りの投票用紙を手渡すなどのプロセスの面でも工夫があります。生徒たちは、実際の選挙公報やマニフェスト、新聞・メディアを見ながら、どの政党に投票すべきかを熟考します。

<2016年 参議院選挙の模擬選挙の様子>

